



令和8年4月1日

1 学校教育目標

「知・徳・体」のバランスのとれた日本一の富士見中生

※ 昭和22年開校以来の富士見中の精神

- 文武両道 (特に生徒が受け継いできた精神)
- 師弟同行 (特に教師が受け継いできた精神)

2 目指す生徒像

- 自ら学ぶ生徒 (我らは学ぶ) 【知】
- 心豊かな生徒 (我らは進む) 【徳】
- 健康な生徒 (我らは励む) 【体】

文武両道

3 目指す学校像 (アンダーラインは本年度の重点)

- 力を合わせて学ぶ喜びを味わう学校
- 将来の夢をはぐくむ学校
- わかる、できるようになる授業を行い、生徒一人一人を伸ばす学校
- 「ありがとう」が溢れ、潤いと勢いのある学校
- 環境が整い、秩序ある学校
- 家庭・地域社会との連携を深める学校

4 目指す教職員像 (アンダーラインは本年度の重点)

- 生徒とともに、学び続ける教職員 (指導者であり伴走者である教職員)
- 情報を共有し、組織として課題を解決できる教職員
- 生徒の手本(モデル)となる教職員
- 高い授業力、高い生徒指導力をもった教職員
- 「ありがとう」の溢れる教職員
- 健康で明るく、不祥事を起こさない教職員

師弟同行

5 経営方針

「能力や個性」からの変更

生徒一人一人のよさや可能性を伸ばす教育の推進

- 生徒を学校を中心に据え、誰一人取りのこすことのない教育を推進し、生徒一人一人のよさや可能性を引き出し、伸ばします。
- 「新熊谷プロジェクト」※1で、学力日本一を目指します。
- 創立80周年記念事業を通して、生徒の愛校心や地域とのつながりを強めます。
- 道徳を核として、豊かな心を育て、共に助け合い、支え合う学級・学年・学校をつくりまします。
- 特別活動（学級活動）を核として、生徒の主体的な活動を活発にします。
- 健康な心と体を育み、気力・体力の充実したバランス感覚の優れた生徒を育成します。
- ノーマライゼーションの理念に立ち、生徒一人一人を大切にした教育を行います。
- 基本的生活習慣の確立（「4つの実践」と「3減運動」等※2）を学校・家庭・地域が一体となって進めます。
- 教職員事故の絶無を期し、信頼される学校をつくりまします。
- 時間外勤務の短縮に努め、教職員がゆとりをもって勤務できるようにします。（カエルボード、日課の整理、面談縮小 等）

※1 「新熊谷プロジェクト」の取組

- ① 教科横断的な授業
- ② オーセンティックな授業
※オーセンティックな授業・・・現実社会に存在する、本物の実践に可能な限り近づけた学び
- ③ 校内教育支援センター「新しくまなびスクール」

※2 「4つの実践」と「3減運動」等

- ・「熊谷の子どもたちは、これができます！『4つの実践』と『3減運動』」
- ・「スマホ使い方宣言」
- ・「タブレット端末の約束5か条」

6 令和8年度の具体的な取組 ※目指す生徒像の具現化に向けて

(1) 「自ら学ぶ生徒」を育てるために

① 新熊谷プロジェクトの実践

指標

「総合的な学習の時間」を中核としたカリキュラム改善

- ・教科横断的でオーセンティックな授業の実践
- ・新しくまなびスクール支援員、特別支援教育支援員等と連携した個別支援の充実
- ・「総合的な学習の時間」（SDGs 月間）の充実

② 確かな学力を身に付けさせる授業の工夫

指標

埼玉県学力・学習状況調査 学力レベル向上100%

- ・学習内容を明確にした授業の確実な実践
- ・生徒一人一人のよさや可能性を引き出す教育活動の展開
（自己有用感の育成を基盤とした学習指導の工夫）
- ・国や県の学力・学習状況調査問題の効果的な活用
- ・【課題】 分かりやすく説明すること
- ・授業力の向上に向けた研修の充実

学校研究課題

生徒一人一人のよさや可能性を引き出す教育活動の展開
—自己有用感の育成を基盤とした学習指導の工夫—

(2) 「心豊かな生徒」を育てるために

① 生徒が主体的に活動する場の設定（学級経営の充実）

指標

生徒の「居場所」「つながり」づくり100%

- ・生徒の自己有用感を高める学級経営の充実
- ・主体的な生徒会、専門委員会の活動
- ・生徒の力で運営する諸行事の充実
（春に実施する体育祭、1年生の校外学習の計画的な準備・運営）
- ・新しくまなびスクール支援室「ぬっく」の活用

第80期生徒会スローガン

「光」

周りの人の光を見つけ認め合い、

一人一人が輝ける富士見中学校へ。

② 「ありがとう」が溢れる心の育成（道徳教育の充実）

指標 「ありがとうの花束」実施１００％

- ・ローテーション道徳のさらなる進化・深化
- ・「ありがとうの花束」の実施
- ・人権感覚の育成（年間２回の人権旬間の効果的な実施）
- ・いじめの防止と早期発見、組織的な早期対応
（毎月の「学校生活アンケート」の確実な実施）

③ 社会で通用する規範意識の醸成

指標 「熊谷の子どもたちは、これができます！『４つの実践』『３減運動』」の定着９０％、「スマホ使い方宣言」の定着１００％

- ・学校・家庭・地域が一体となった「４つの実践」「３減運動」等の推進
- ・全校統一「スタートブック」の内容の徹底
- ・将来の夢をはぐくむキャリア教育の充実
- ・情報モラル教育のさらなる充実

(3) 「健康な生徒」を育てるために

① 将来の土台となる体力の向上（体育授業の充実）

指標 新体力テスト全種目県平均以上

- ・できなかったことができるようになる体育授業の実践
- ・運動量を増やし、汗をかかせる体育授業の実践
- ・新体力テストを年間２回実施し、各自の課題種目の克服の実現
【課題】 握力、立ち幅跳び、持久走】
- ・主体的な部活動の推進（部長会の活用）

② 生徒自身による主体的な生活習慣の確立

指標 むし歯処置歯率１００％

- ・朝食グランプリ、ノーメディアデーの実施
【課題】 朝食の欠食、スマホ等の使いすぎによる睡眠時間不足】
- ・保健委員会を中心とした生徒会活動の推進

(4) 「家庭・地域社会との連携を深める学校」を創るために

① 学校の教育活動の広報

指標 ホームページの毎日の更新

- ・ホームページの機を捉えた更新と内容の充実
- ・学校日より「富士見ゆ窓」の内容の充実

② 開かれた学校づくりの推進

指標 「創立８０周年記念式典」の実施

- ・ 創立８０周年記念行事に向けた取組の推進
- ・ 学校運営協議会の主体的な運営（バス通学の検討）
- ・ 学校評価（保護者・生徒アンケートを含む）の活用

創立８０周年スローガン



ずっと、つながっている

～過去から今へ、そして未来へ～

〔本校の弱み〕 地域性の弱さ（学区の広さ、越境入学の多さ）

③ 安全で安心な環境の整備

指標 年間３回の避難訓練とショート避難訓練の実施１００％

- ・ 安全点検の徹底と素早い対応
- ・ 実践的な避難訓練の実施（年間３回の避難訓練とショート避難訓練）
- ・ 教職員事故の根絶

※学校・保護者・地域連携の合い言葉

「全ては子供たちの笑顔のために」

※目指す教師像の合い言葉 「師弟同行」

※生徒指導の最重要テーマ 「想像力」

※教職員不祥事の根絶に向けて

- ① 心身の健康の保持・増進
- ② ダメなものはダメの徹底
- ③ 教職員の使命と誇りの再認識